



須佐見 吉生 (Yoshio SUSAMI) 洞穴科学調査会所属 和歌山県在住)

2020年7月末より「戸津井鍾乳洞資料館」がオープンしました。場所は「日本洞窟学会第45回大会(和歌山県白崎大会)」の会場のひとつになった観光洞「戸津井鍾乳洞」の駐車場脇です。

この資料館を開設したのは、由良町内に住む吉村美恵子さん(78)。吉村さんの父は、戸津井砕石場で働く山師(鉱山技術者)のひとりでした。

「山師たちによって発見された鍾乳洞の史実を後世に伝えたい。」といった気持ちから、3月まで土産店として経営していた7坪程度の建物を資料館に改装。1935(昭和10)年に石灰岩砕石の発破作業によって戸津井鍾乳洞に初めて光が差し込んでから、1945(昭和20)年の封鎖、1980(昭和55)年の再開洞、1989(平成元)年の観光化までの歴史を、パネル11枚によって紹介しています。イラスト付きなので、親しみやすい展示です。また、実際に採石場で使われていた100年以上前の玄翁(金槌)やタガネも展示されています。

この資料館は吉村さんの記憶をまとめたもので、学術的な展示はありませんが、山師たちの洞窟に対する気概を感じるものになっています。戸津井鍾乳洞を訪れた際には是非立ち寄ってください。入館料は100円です(10月現在は新型コロナウイルス対応で無料 期限は未定)。

関連施設

戸津井鍾乳洞

住所 : 和歌山県日高郡由良町大字戸津井 646

電話 : 0738-66-0406

営業時間: 9:00 ~ 17:00

営業日 : 土曜日、日曜日、祝日(年末年始は除く)。

由良町内小中学校の春休み、夏休み、冬休み期間中は平日も営業。

入洞料金: 大人 200 円、小人 100 円

関連資料(ケイビングジャーナル)

長谷川幸祐, 2020. 日本洞窟学会第45回大会(和歌山県白崎大会)大会記録. ケイビングジャーナル, 68:14-21. 日本洞窟学会

須佐見吉生・水島明夫, 2008. 日本の観光洞-25. ケイビングジャーナル, 32:42-43. 日本洞窟学会

ABSTRACT

A small cave museum "Totsui-shonyudo shiryokan" has opened in Yura Town, Wakayama Prefecture. The development history of Totsui-shonyudo Cave is exhibited.



吉村美恵子館長